

令和6年度 港川こども園 職員自己評価シート（保育教諭等）

行動指針に対する状況を記入します。（1（あてはまらない）⇔ 3 ⇔5（とてもよくあてはまる）） ※評価の平均値は（少数点第2以下四捨五入）

※評価の計、合計の値は、全ての保育教諭の計、合計の値の平均値を表しています。

行動指針		評価の平均値
1 教育・保育目標に基づく学級経営の充実		評価点の計（最大値35）
		26.2
1	園の教育・保育目標及び教育課程に基づいた学級経営を実践し、定期的に評価・改善している。	3.2
2	学級目標を具現化し、意図的かつ計画的な学級経営と保育実践を行っている。	4.0
3	一人ひとりの幼児を大切にし、幼児同士も互いの良さを認め合える学級となっている。	3.8
4	幼児の主体的・自発的な活動ができるよう適切な援助を心がけ、環境構成を工夫している。	3.8
5	学級のことについて、他の職員とも積極的に情報交換を行っている。	4.2
6	室内外の環境構成について、日常的に点検するとともに改善がなされている。	3.4
7	保護者の理解を得ながら、特別な支援を要する幼児の個別の指導計画、個別の教育支援計画を立案をし、実践する。	3.8
2 教育・保育の質の向上		評価点の計（最大値50）
		35.2
1	園内カンファレンス等を通して、多面的な幼児理解をしている。	3.5
2	相互に保育参観を行い、教育・保育を高め合っている。	3.5
3	週日案の中で日々の保育や記録を振り返り、評価・改善をしている。	3.5
4	研修会や研究会には自己課題を持って参加したり、専門書を読んだりしながら自己研鑽に励んでいる。	3.2
5	幼児の自発的な活動を促がす環境構成となっているか振り返り、改善を行っている。	3.6
6	保幼こ小の連携の中でそれぞれの保育・教育内容について理解し、円滑な接続に取り組んでいる。	3.3
7	小学校と連携して接続期のカリキュラムを活用した実践を行い、公私連携型こども園としての役割を意識しながら保育所・私立幼稚園・私立こども園と連携し、教育・保育課程をつなげている。	3.3
8	必要に応じて個別の支援計画・指導計画を作成し、障がいの状態に応じた指導の工夫をしている。	3.6
9	職員同士で共通理解を図り、連続性のある教育・保育を行っている。	4.1
10	幼保連携型認定こども園教育・保育要領の理解を深め、それに基づいた保育を実践している。	3.6
3 子育ての支援の充実		評価点の計（最大値35）
		26.0
1	家庭との連携を密に行い、個々の幼児の家庭での生活の様子を把握できるようにしている。	4.4
2	クラスだより等で、教育・保育の内容やねらい、子どもの様子等をわかりやすく伝え、子育てや幼児理解に必要な情報を発信している。	3.6
3	学級懇談会や保育参観等において、保護者同士のつながりがもてるような場を提供している。	3.1
4	日々の情報交換や個人面談等で子育てについて保護者の悩みを聞き解決に向けて丁寧に対応している。	3.7
5	事故や問題が起きた場合に保護者への説明や対応が迅速かつ的確である。	3.9
6	不適切な養育や虐待を受けている疑われる子どもの早期発見及び虐待の予防につい手、保護者向けに子育ての情報提供及び関係機関との連携を図っている。	3.5
7	家庭と連携しながら食べて・動いて・よく寝ようを推進し、基本的な生活習慣の形成を目指した援助を行っている。※生活習慣アンケートの活用	3.8
【取組状況に関するコメント】		評価点の合計（最大値120）
【保育教諭の意見等】		
コメント等		
・フリーなので書類作成など無いのですが、先生方から聞いて子ども達への保育に活かしています。全体を見ながらサポートをしていきたい。		
・前年度より落ち着いて子どもに向き合う事ができていると感じた。		
・年少～年長の教育課程を意識した話合いができてきたように思う。		
・幼児一人一人の個性が強く、協調性や思いやりの部分に課題がある。		
・クラス担任の職員との児湯通理解（園の教育、教育課程、環境構成など）がなかなか話し合えていないことがあるので、私自身から積極的に話を聞くことを意識していけるようにしたい。		
・クラスの職員同士でよく話をする機会があったので、クラス運営をスムーズに進めることができて良かった。		
・加配保育について、年長加配児を3対1で担当しています。実際には1対1対応が必要な子がいるなど、しっかり見てあげることでできない場面が多くありました。加配児に対しての配置基準や法人の規定などもあると思いますが、こどもの安全が第一です。今年度は保護者から指摘を受けることはありませんでしたが、様々な思いがあつて、加配申請をした保護者に対して納得のいく回答ができません。子どもの実態を踏まえて配置を検討して頂けたらと思います。		
・担任や周りの職員とも情報交換や連携を図りながら自分の役割を意識して教育・保育に携わっていききたい。		
・周囲の先生を見たり、本を読む等、技術や知識をもっと身に付けていきたい。		
・研修以外でも日頃の振り返りや学びがもっと必要だと感じた。		
・各学年、子どもの成長やカラーに合わせ、活動に取り組むことが出来ていた。又、気になる子どもの情報共有をし、職員が共通の対応が出来るようになっていた。昨年と比べ、職員の雰囲気も良く、協力して勤務することができていた事が何より良かったと思う。		
・保育参観では、じっくり見ることが難しいクラスもあったので、年に1クラスを決めて出来るだけ多くの人が参観出来る環境を作り意見交換をする方が保育を深堀りすることができるのではないかと感じた。		
・子ども達が安心して園生活が送れるよう先生方と協力して頑張りたいと思う。		